



同じ境遇にある仲間のサポートを受けませんか？



支え合いの不妊症・不育症治療をめざしています

不妊症・不育症の治療中の方、治療のやめ時を迷っている方、
流産や死産を体験された方に対して、
同じ経験をした当事者のサポートにより心が軽くなることを目指しています。

現在、多くのピアサポーターが認定され、
性と健康の相談センターや都道府県助産師会を通じて
支援活動を行っています。



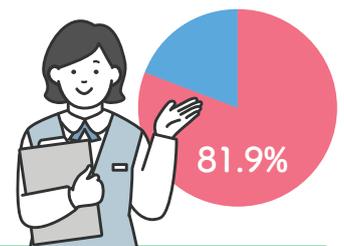
ピアサポートって何？

不妊症・不育症ピアサポーターは不妊症や不育症の経験を強みとして活動する人のことで、現在治療中/治療を終えた方、または当事者家族の方を指しています。
似た経験をした当事者の仲間と話をすることで、治療の実際に関する情報、生活の工夫、精神的な支援を得ることができます。



具体的な支援について

ピアサポーターによる実際の支援については、自治体により異なりますが、お話会や学習会、当事者の会やボランティア活動などを通じて様々な場所で活動をしています。
また場合により医療知識や経験のある専門職と力を合わせての支援を行っております。



相談の実態について

不妊症・不育症の方の81.9%は家族を含めどなたかに相談されており、半数以上の方はつらさが和らぎ、何らかの情報が得られています。
つらい時は相談されることをおすすめしております。ホームページでは実際にご相談いただきました内容の調査結果の一部をご紹介します。

詳しくは、ホームページでご確認いただけます

